

総 社 市 水 道 事 業 の 概 要 及 び 経 理 の 状 況

【平成26年度上半期の状況】

本市の平成26年度上半期の給水量（有収水量）は、上水道と簡易水道を合わせて3,298,304 m³で前年度と比較して0.75%減少しています。また、給水件数は25,693件で17.0%増加しています。詳細につきましては、別表1 給水状況をご覧ください。

財政状況につきましては、別表2 損益計算書のとおり、税抜きで総収益7億5,628万2千円となっています。

一方、総費用につきましては、税抜きで4億8,406万円となっています。

今後の運営に当たりましては、より一層の経費節減と経営の合理化を図り、安定給水と健全経営に向けて努めてまいります。

【平成25年度決算概要】

平成25年度の水道事業の業務量のうち年度末給水件数は、22,517件（上水20,191件、簡水2,326件）で前年度末に比べ775件（3.56%）増加し、年間給水量は、6,662,432 m³（上水5,996,394 m³、簡水666,038 m³）で前年度に比べ33,540 m³（0.5%）減少しました。

建設改良の状況につきましては、上水道事業では、合併創設第1次変更事業として災害時にも安定的な水道水の給水を行うため、ブロック化配水に向けた配水本管の布設工事を実施しました。

また、老朽管路の更新として石綿管の耐震管への改良工事や公共下水道、駅南区画整理事業などの公共工事に関連した配水管の移設及び布設工事を実施しました。

簡易水道事業については、住宅新築等に伴う配水管布設工事を実施しました。

今後も、総社市水道ビジョンに基づいた事業を実施することにより、安全・安心・安定した水道水の供給に努めてまいります。

財政状況につきましては、上水道事業の事業収益は、料金収入8億3,352万6千円などの営業収益8億6,990万9千円、営業外収益2,584万3千円の合計8億9,575万2千円（税込額9億3,870万1千円）で、前年度に比べ501万2千円の増収となっています。事業費用は、営業費用7億4,257万6千円、営業外費用6,538万6千円、特別損失6,006万5千円の合計8億6,802万7千円（税込額9億359万円）で前年度に比べ4,892万6千円の増加となっています。これは、地方公営企業法の改正に伴う新

会計基準の導入により資産整理等を行った結果、特別損失が増加したことが主な要因です。この結果、本年度の収益的収支は、2,772万5千円の当年度純利益が生じています。

簡易水道事業の事業収益は、料金収入9,076万円などの営業収益9,462万8千円、営業外収益1億7,253万2千円、特別利益130万4千円の合計2億6,846万4千円(税込額2億7,316万1千円)で、前年度に比べ2,265万6千円の増収となっています。事業費用は、営業費用2億1,264万8千円、営業外費用3,242万9千円、特別損失7,692万7千円の合計3億2,200万4千円(税込額3億2,933万2千円)で、前年度に比べ8,485万円の増加となっています。これは、地方公営企業法の改正に伴う新会計基準の導入により資産整理等を行った結果、特別損失が増加したことが主な要因です。この結果、本年度の収益的収支は、5,354万円の当年度純損失が生じています。

今後においても、水道施設の計画的な整備と長期的展望にたった財政計画により経営の健全化に努めてまいります。

1. 給水状況 上半期(H26. 9. 30現在)

区分	上水道			簡易水道		
	平成26年度	平成25年度	増減	平成26年度	平成25年度	増減
給水件数(件)	22,994	19,720	3,274	2,699	2,249	450
給水人口(人)	56,634	56,419	215	7,246	7,225	21
配水量 (m ³)	3,310,035	3,452,086	△ 142,051	375,973	374,658	1,315
給水量 (m ³)	2,965,462	2,991,394	△ 25,932	332,842	331,782	1,060
有収率 (%)	89.6	86.7	2.9	88.5	88.6	△ 0.0

2. 損益計算書 (平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(単位 千円)

項目	金額		
	上水道	簡易水道	合計
(1) 営業収益	433,233	47,572	480,805
(2) 営業外収益	64,914	210,563	275,477
(3) 特別利益	0	0	0
総収益 (1) + (2) + (3) A	498,147	258,135	756,282
(4) 営業費用	331,062	103,836	434,898
(5) 営業外費用	30,384	13,350	43,734
(6) 特別損失	4,540	888	5,428
総費用 (4) + (5) + (6) B	365,986	118,074	484,060
当期純利益(損失) A-B	132,161	140,061	272,222

3. 貸借対照表 (平成26年9月30日)

上水道

(単位 千円)

項目	金額	項目	金額
固定資産	7,735,133	固定負債	2,244,197
流動資産	1,714,703	流動負債	178,093
		繰延収益	2,492,347
		負債合計	4,914,637
		資本金	742,925
		剰余金	3,792,274
		資本合計	4,535,199
資産合計	9,449,836	負債資本合計	9,449,836

簡易水道

(単位 千円)

項目	金額	項目	金額
固定資産	3,634,292	固定負債	1,209,509
流動資産	401,314	流動負債	37,959
		繰延収益	2,151,119
		負債合計	3,398,587
		資本金	151,116
		剰余金	485,903
		資本合計	637,019
資産合計	4,035,606	負債資本合計	4,035,606

4. 平成25年度決算の概要

損益計算書(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(単位 千円)

項目	金額		
	上水道	簡易水道	合計
(1) 営業収益	869,909	94,628	964,537
(2) 営業外収益	25,843	172,532	198,375
(3) 特別利益	0	1,304	1,304
総収益 (1)+(2)+(3) A	895,752	268,464	1,164,216
(4) 営業費用	742,576	212,648	955,224
(5) 営業外費用	65,386	32,429	97,815
(6) 特別損失	60,065	76,927	136,992
総費用 (4)+(5)+(6) B	868,027	322,004	1,190,031
当年度純利益(損失) A-B	27,725	△ 53,540	△ 25,815

貸借対照表 (平成26年3月31日)

上水道

(単位 千円)

項目	金額	項目	金額
固定資産	8,026,146	固定負債	143,404
流動資産	1,803,110	流動負債	185,268
		負債合計	328,672
		資本金	3,026,864
		剰余金	6,473,720
		資本合計	9,500,584
資産合計	9,829,256	負債資本合計	9,829,256

簡易水道

(単位 千円)

項 目	金 額	項 目	金 額
固 定 資 産	3,758,969	固 定 負 債	23,977
流 動 資 産	354,961	流 動 負 債	28,077
		負 債 合 計	52,054
		資 本 金	1,395,369
		剰 余 金	2,666,507
		資 本 合 計	4,061,876
資 産 合 計	4,113,930	負 債 資 本 合 計	4,113,930

企業債残高明細

上水道

(単位 千円)

借 入 先	平成24年度 末 残 高	平 成 2 5 年 度		平成25年度 末 残 高	償 還 終 期
		借入額	償還額		
財 務 省	1,382,307	0	90,710	1,291,597	平成52年3月
地 方 公 共 団 体 金 融 機 構	940,961	0	52,679	888,282	平成55年3月
吉備信用金庫	51,100	0	13,500	37,600	平成31年3月
中 国 銀 行	53,200	0	7,600	45,600	平成32年3月
ト マ ト 銀 行	41,720	0	20,860	20,860	平成27年3月
合 計	2,469,288	0	185,349	2,283,939	

簡易水道

(単位 千円)

借 入 先	平成24年度 末 残 高	平 成 2 5 年 度		平成25年度 末 残 高	償 還 終 期
		借入額	償還額		
財 務 省	830,629	0	42,785	787,844	平成50年3月
地 方 公 共 団 体 金 融 機 構	467,009	0	13,659	453,350	平成53年3月
合 計	1,297,638	0	56,444	1,241,194	

総社市工業用水道事業の 概要及び経理の状況

【平成26年度上半期の状況】

本市の平成26年度上半期の給水量（有収水量）は、93,506 m³で前年度と比較して16.6%減少しています。また、給水件数は昨年度と同様に19社に給水しています。詳細につきましては、別表1 給水状況をご覧ください。

財政状況につきましては、別表2 損益計算書のとおり、税抜きで総収益1,919万1千円となっています。

一方、総費用につきましては、税抜きで1,119万5千円となっています。

今後の運営に当たりましては、より一層の経費節減と経営の合理化を図り、安定給水と健全経営に向けて努めてまいります。

【平成25年度決算概要】

本市の工業用水道事業は、工業の振興と地域の発展に寄与することを目的として、昭和63年度に一部給水を開始し、本年度は19社に給水しています。給水量は、契約水量1日2,000m³（19社の合計）に対し、1日平均給水量585.9m³、1日1社平均給水量30.8m³で、年間の給水量は213,862m³となっています。

本年度の事業収益は3,347万1千円（税込額3,557万7千円）で前年度に比べ8万2千円の増収で、そのうち給水収益は3,311万3千円で、前年度に比べ4万7千円の増収となっています。事業費用は2,498万2千円（税込額2,514万8千円）で、前年度に比べ187万円の増加となっています。事業費用の増加は、減価償却費及び富原水源地用地の一部売却に伴う特別損失の増加が主な要因です。

この結果、本年度の収益的収支は848万9千円の当年度純利益が生じており、前年度繰越利益剰余金5万4千円を加えた当年度未処分利益剰余金は854万3千円となっています。

事業運営に当たりましては、引き続き効率的な経営に努め、事業の安定化に努めたいと考えていますので、今後とも格別のご理解とご協力をお願いいたします。

1. 給水状況 上半期（平成26年9月30日現在）

区分	平成26年度	平成25年度	増減
給水件数(件)	19	19	0
年間契約給水量(m ³)	730,000	730,000	0
配水量(m ³)	94,546	113,377	△ 18,831
給水量(m ³)	93,506	112,130	△ 18,624

2. 損益計算書 上半期（平成26年4月1日～平成26年9月30日）

(単位 千円)

項目	金額
(1) 営業収益	16,546
(2) 営業外収益	2,645
(3) 特別利益	0
総収益 (1) + (2) + (3) A	19,191
(4) 営業費用	10,383
(5) 営業外費用	323
(6) 特別損失	489
総費用 (4) + (5) + (6) B	11,195
当期純利益 A-B	7,996

3.貸借対照表（平成26年9月30日）

工業用水道

（単位 千円）

項 目	金 額	項 目	金 額
固 定 資 産	231,360	固 定 負 債	15,549
流 動 資 産	145,152	流 動 負 債	5,377
		繰 延 収 益	86,578
		負 債 合 計	107,504
		資 本 金	144,812
		剰 余 金	124,196
		資 本 合 計	269,008
資 産 合 計	376,512	負 債 資 本 合 計	376,512

4. 平成25年度決算の概要

損益計算書(平成25年4月1日～平成26年3月31日)（単位 千円）

項目	金 額
(1) 営業収益	33,113
(2) 営業外収益	358
(3) 特別利益	0
総 収 益 (1) + (2) + (3) A	33,471
(4) 営業費用	23,305
(5) 営業外費用	1,147
(6) 特別損失	530
総 費 用 (4) + (5) + (6) B	24,982
当年度純利益 A-B	8,489

貸借対照表 (平成26年3月31日)

工業用水道

(単位 千円)

項目	金額	項目	金額
固定資産	349,895	固定負債	10,631
流動資産	168,770	流動負債	25,111
		負債合計	35,742
		資本金	157,636
		剰余金	325,287
		資本合計	482,923
資産合計	518,665	負債資本合計	518,665

企業債残高明細 (平成26年3月31日現在)

工業用水道

(単位 千円)

借入先	平成24年度 末残高	平成25年度		平成25年度 末残高	償還終期
		借入額	償還額		
財務省	20,342	0	7,518	12,824	平成29年3月
公営企業金融公庫	359	0	359	0	平成26年3月
合計	20,701	0	7,877	12,824	